



後ローラキット

ProCore® 648, 648s エアレータ

モデル番号 09234

取り付け要領

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

内容	数量	用途
必要なパーツはありません。	—	マシンの準備を行う。
サイドプレート	2	サイドプレートを取り付けます。
六角ヘッドボルト $\frac{3}{8}$ "	4	
ナイロックナット $\frac{3}{8}$ "	4	
ローラアセンブリ	1	ローラアームにローラアセンブリを取り付けます。
スプリングワッシャ	2	
ローラアーム	2	
硬化ワッシャ	1	
ローラシャフトのねじ	2	
グリスフィッティング取り付けられていない場合	2	
ローラスクレーパ	1	
スクレーパアーム	2	
キャリッジねじ $\frac{3}{8}$ "	4	
ナイロックナット $\frac{3}{8}$ "	4	
フランジブッシュ	2	サイドプレートにローラアセンブリを取り付けます。
平ワッシャ	2	
六角ヘッドボルト $\frac{5}{8}$ "	2	
ナイロックナット $\frac{5}{8}$ "	2	
スプリングアセンブリ	2	スプリングプレートにスプリングアセンブリを取り付けます。
スプリングブラケット	4	
ナイロックナット $\frac{3}{8}$ "	8	
キャリッジボルト $\frac{3}{8}$ "	8	



マシンの準備を行う

1. 平らな場所に駐車する。
2. コアリングヘッドを上昇させる。
3. エンジンを停止する。
4. 駐車ブレーキを掛ける。
5. キーを抜き取って各部が完全に停止するのを待つ。

サイドプレートを取り付ける

1. コアリングヘッドを整備用ラッチで固定する。
2. サイドシールドをコアリングヘッドに固定している六角ヘッドボルト $\frac{3}{8}$ "2本、ワッシャ2枚、フランジナット $\frac{3}{8}$ "2個を、マシンの左側から外して保管する。コアリングヘッドからサイドシールドを外す。マシンの反対側についても同じ作業を行う。

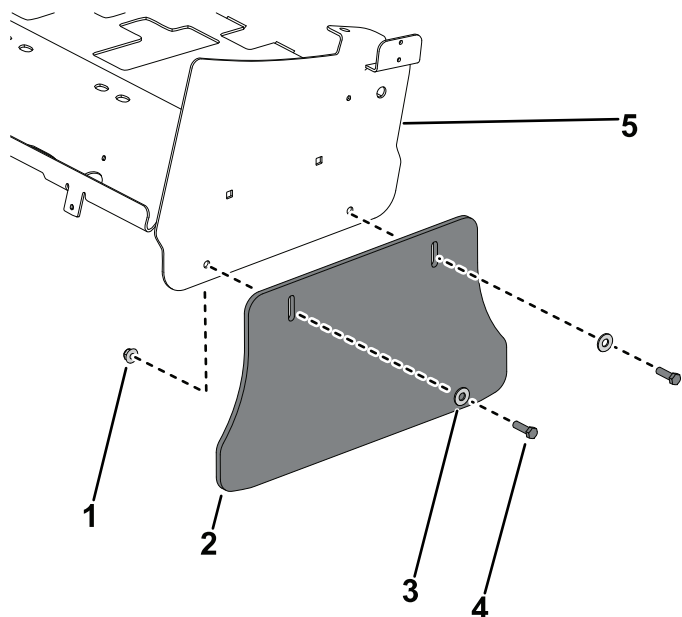


図 1

1. フランジナット $\frac{3}{8}$ "
2. サイドシールド
3. ワッシャ
4. 六角ヘッドボルト $\frac{3}{8}$ "
5. コアリングヘッド

3. マシンの左側で、コアリングヘッドにサイドプレートを取り付ける六角ヘッドボルト $\frac{3}{8}$ "2本とライロックナット $\frac{3}{8}$ "2個で固定する。マシンの反対側についても同じ作業を行う。

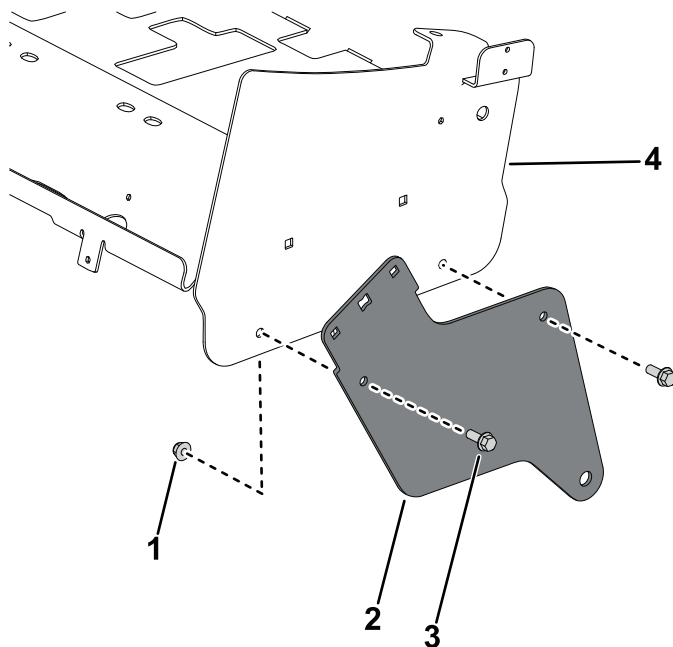


図 2

1. ナイロックナット $\frac{3}{8}$ "
2. サイドプレート
3. 六角ヘッドボルト $\frac{3}{8}$ "
4. コアリングヘッド

g430339

g430327

ローラアームにローラアセンブリを取り付ける

1. ローラシャフトの両端それぞれにスプリングワッシャを挿入する【図 3】。
2. ローラシャフトの両端それぞれにローラアームを挿入する【図 3】。
3. ローラアームを、ローラシャフト2本に固定する硬化ワッシャ右側のみとローラシャフト用ねじを使用する。ローラシャフト用ねじにグリスフィッティングが付いていない場合には、グリスフィッティングを取り付ける【図 3】。
4. 各スクレーパアームのスロットに、ローラスクレーパ取り付けタブを挿入する【図 3】。
5. ローラアームにスクレーパアームを挿入する【図 3】。
6. ローラアームの左側で、スクレーパアームをローラアームに固定するキャリッジねじ $\frac{3}{8}$ "2本とナイロックナット $\frac{3}{8}$ "を使用する【図 3】。右側ローラアームについても同じ作業を行う。

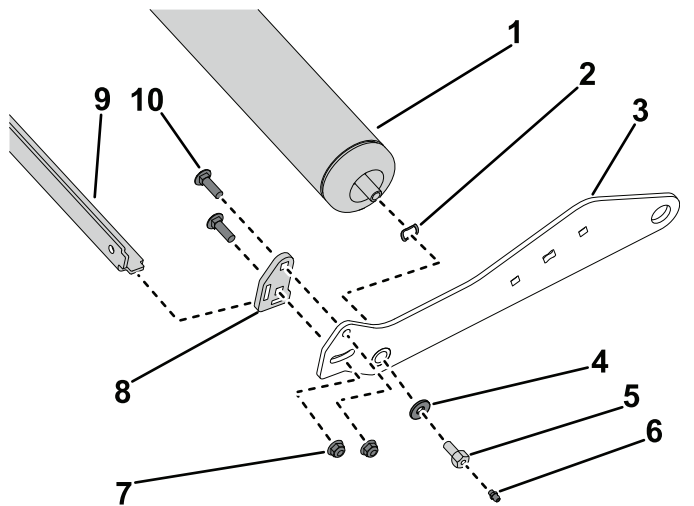


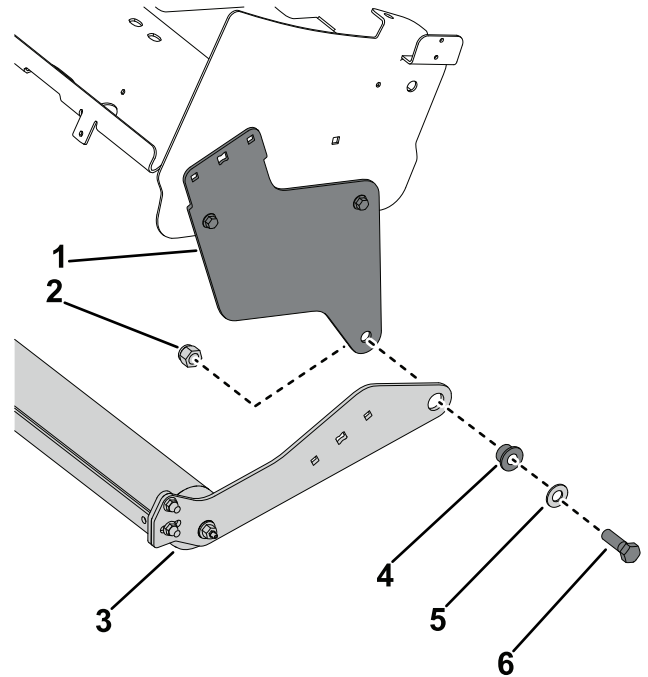
図 3

- | | |
|---------------|-----------------------------|
| 1. ローラアセンブリ | 6. グリスフィッティング |
| 2. スプリングワッシャ | 7. ナイロックナット $\frac{3}{8}$ " |
| 3. ローラアーム | 8. スクレーパアーム |
| 4. 硬化ワッシャ右側のみ | 9. スクレーパ |
| 5. ローラシャフトのねじ | 10. キャリッジねじ $\frac{3}{8}$ " |

サイドプレートにローラアセンブリを取り付ける

1. ローラアーム2本の取り付け穴を、各サイドプレートの取り付け穴に整列させる。
2. サイドプレートにローラアセンブリを固定するフランジブッシュ2個、平ワッシャ2枚、六角ヘッドボルト $\frac{5}{8}$ "2本、ナイロックナット $\frac{5}{8}$ "2個を使用する。

注 ローラは、タインの少し後方でターフに接触してターフを押さえつけます。



g430378

図 4

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1. サイドプレート | 4. フランジブッシュ |
| 2. ナイロックナット $\frac{5}{8}$ " | 5. 平ワッシャ |
| 3. ローラアセンブリ | 6. 六角ヘッドボルト $\frac{5}{8}$ " |

スプリングプレートにスプリングアセンブリを取り付ける

1. マシンの左側で、サイドプレートとローラアームにスプリングアセンブリを固定するスプリングブラケット 2個、キャリッジボルト $\frac{3}{8}$ "2本、ナイロックナット $\frac{3}{8}$ "2個を使用する。マシンの反対側についても同じ作業を行う。

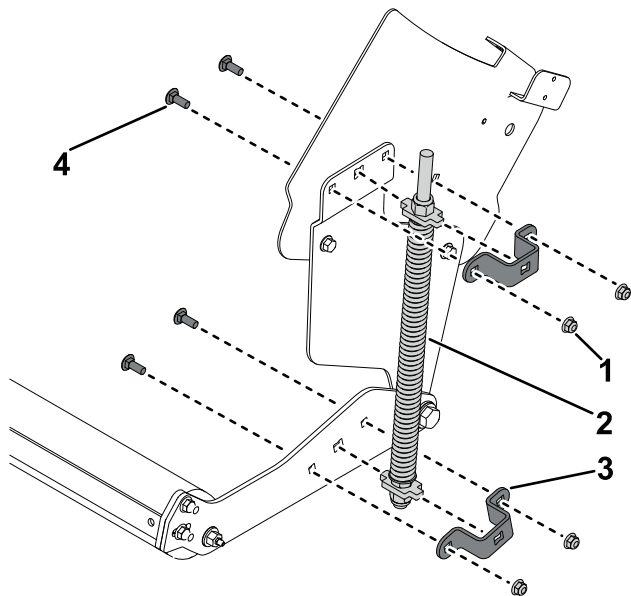


図 5

g430380

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1. ナイロックナット $\frac{3}{8}$ " | 3. スプリングブラケット |
| 2. スプリングアセンブリ | 4. キャリッジボルト $\frac{3}{8}$ " |

2. 各ローラのフィッティングに、リチウム系 2 号グリスを注入する一か所あたりおよそ 15 ml 注入する。
3. スクレーパアームをローラアームに固定している下側ナイロックナット $\frac{3}{8}$ "2個をゆるめる。ローラスクレーパとローラとの間がおおよそ 1.5 mm になるように、ローラスクレーパを調節する。ナイロックナットを締める。

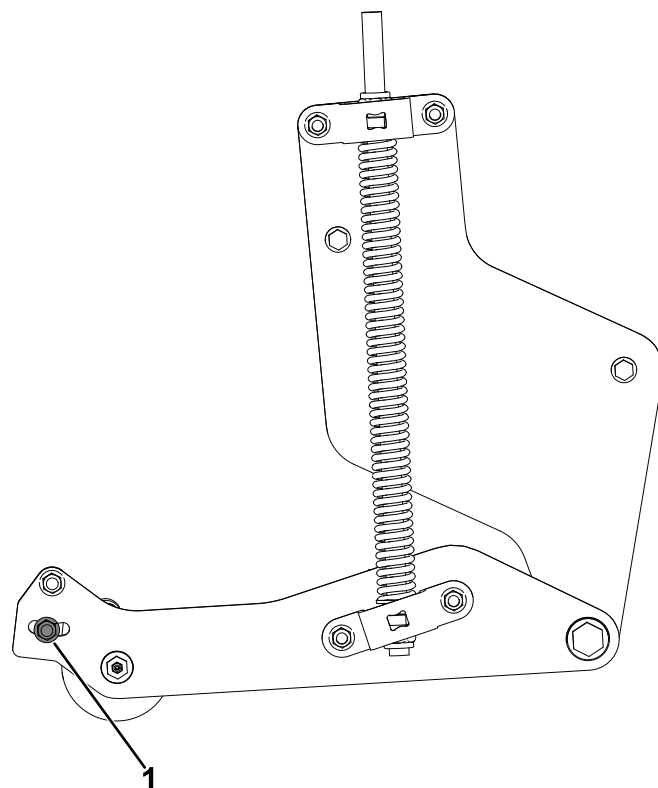


図 6

g430381

1. スクレーパ調整用ナイロックナット

4. 各締め具を本締めする。

注 スプリングは出荷時に調整済みですが、念のために、圧縮時の長さが 38.1 cm になることを確認し、必要に応じて正しく調整してください。

スプリングを短くしても押圧は大きくなりません。移動走行時の高さが高くなり、コアリングヘッドが動作したときのターフとの接触に遅れが生じるようになります。